

株主通信

第51期 中間報告書

2014年4月1日～2014年9月30日

P1 ▶



【株主の皆様へ】

**更なる成長と収益確保を目指して、諸施策を
着実に遂行**

P3 ▶ 連結業績ハイライト

P4 ▶ 主要な事業内容

P5 ▶ 地域別売上高の概況

P7 ▶ 連結決算概要

P9 ▶ 【ニュース&トピックス】



■ハイブリッドシステム搭載のホイールローダを開発
■ODAでZX210W-3をアゼルバイジャン南部へ納入
■日立建機オリジナルグッズ～新製品がぞくぞく登場!!～

P12 ▶ 企業情報／株式の状況

※ 当冊子における記載金額及び株式数は表示単位未満を四捨五入して表示しています。



更なる成長と収益確保を目指して、 諸施策を着実に遂行

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第51期第2四半期連結累計期間の当社グループにおける取り組みや、
今後の施策についてご報告申し上げます。

2014年11月

代表執行役 執行役社長 

北米や欧州では需要が拡大し、中国や東南アジア では需要が減少しました。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、
日本や米国では回復基調でしたが、中国では経済成
長率が減速、欧州では持ち直しの動きが足踏みして
おり、東南アジアでは依然として低迷しています。

油圧ショベルを中心とした建設機械市場は、日本

では排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動を受けま
した。北米では住宅着工の持ち直し等により需要が
拡大し、欧州でも英国の住宅関連投資等を背景に需
要は拡大しました。一方、中国や東南アジアでは需要
が大幅に減少しました。

マイニング(鉱山)機械市場は、資源価格下落等
により、インドネシア・オーストラリア・米州等の鉱山
向けの需要は低迷しました。

2015年3月期第2四半期(累計)の連結業績

■ 売上高 **3,891** 億円
前年同期比 **4.1%** 増 

■ 経常利益 **249** 億円
前年同期比 **48.8%** 増 

■ 営業利益 **254** 億円
前年同期比 **1.3%** 増 

■ 四半期純利益 **111** 億円
前年同期比 **4.0%** 増 



グローバルなサポート体制の確立とシェア向上に努めました。

このような情勢の中、収益確保をめざしてグローバルなサポート体制の確立とシェア向上、原価低減、経営の効率化に取り組んできました。

建設機械については、お客様の機械を総合的にサポートする新サービスメニュー「ConSite (コンサイト)」のグローバル展開を始め、部品・サービス事業の拡大に努めています。日本では更なる低燃費性、安全性、作業性能の向上等を実現させた各種新型機の積極的な拡販に取り組みました。海外においては、ロシア・ブラジルの新工場での量産を開始し、グローバルな生産・供給体制の確立と代理店との連携強化に努めました。

マイニング機械については、リジッドダンプトラックのAC-3シリーズ拡充を図り拡販に取り組むと共に、鉱山機械の運行管理システムの提供等、より高度な顧客サポート体制の構築を進めています。

以上の結果、売上高については、3,891億円(前年同期比4.1%増)となりました。営業利益は254億円(同1.3%増)、経常利益については249億円(同48.8%増)となりました。

一層の原価低減や経営の効率化を推進し、目標達成に取り組みます。

通期の業績予想については、油圧ショベル需要は中国市場で前年割れの需要が続くと考えられ、全世界合計で前年度を下回り、マイニング機械需要も昨年を2割強下回る需要と想定し、売上高7,400億円(前期比7.8%減)、営業利益600億円(同13.2%減)としています。

引き続き、厳しい環境が継続されることが予想されますが、一層の原価低減や、経営の効率化を推進することで、目標達成に取り組みます。

なお、中間配当金につきましては、前期比5円増配となる1株当たり30円とすることを2014年10月28日開催の取締役会において決議いたしましたことをご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、当社グループの企業活動に引き続きご理解を賜りますと共に、今後とも一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2015年3月期連結業績予想

■ 売上高

7,400 億円
前期比 **7.8%減**



■ 営業利益

600 億円
前期比 **13.2%減**



1株当たり配当金



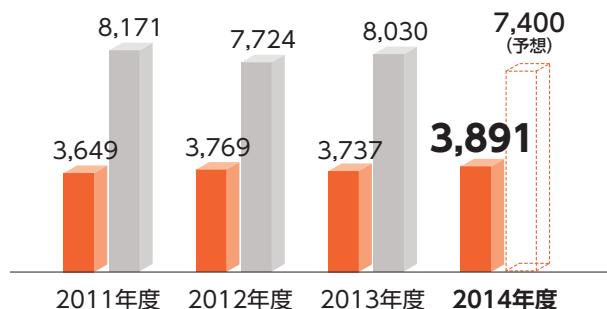
連結業績ハイライト

ポイント

- 1 売上高は、日本、中国で減少するも、米州、欧州、ロシアCIS・アフリカ・中近東を中心に増加したことから、前年同期比**4.1%の増収**。
- 2 営業利益は、売価・資材費及び為替の改善があるも、地域や製品構成差から、前年同期比**1.3%の増益**。
- 3 経常利益は、金融収支や持分法による投資損益の改善により、前年同期比**48.8%の増益**。

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 単位: 億円

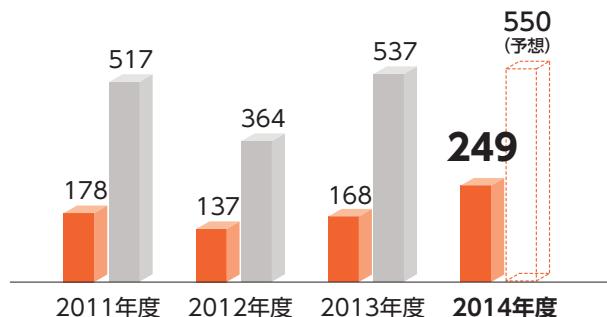
売上高



営業利益



経常利益



純利益/1株当たり純利益





建設機械

建設関連	中型・小型油圧ショベル、ホイール式油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダ、バックホウローダ、クローラクレーン、基礎工事用機械、道路機械、ブルドーザ、クローラ式キャリア、モーターグレーダ
資源開発関連	超大型・大型油圧ショベル、油圧バックホウ船、リジッドダンプトラック、アーティキュレートダンプトラック
環境関連	自走式クラッシャ、土質改良機、シュレッダ、木材リサイクル機、小口径管推進機、スクリーン
商品開発関連	スーパーロング掘削機、解体作業機、スクラップ処理機、林業仕様機、電動ショベル、無線式操縦システム、双腕仕様機
機器関連	建設機械用油圧機器、汎用油圧機器
レンタル関連	建設機械及び建設関連製品の賃貸
中古車関連	中古建設機械等の販売
サービス関連	建設機械等の保守及びサービス、特定自主検査、部品販売、技術研修、鉱山機械の運行管理
ソフト関連	建設機械・部品等の運送、建設機械の割賦販売及びリース等のファイナンス



超大型油圧ショベルEX8000-6



リジッドダンプトラックEH5000AC-3

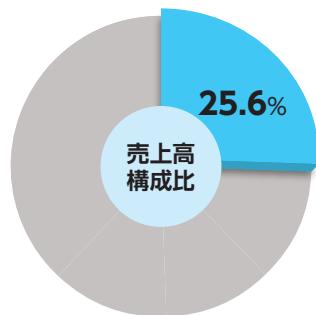


ホイールローダZW220-5B

地域別売上高の概況

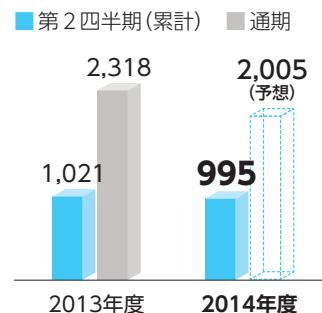
(単位：億円)

日本

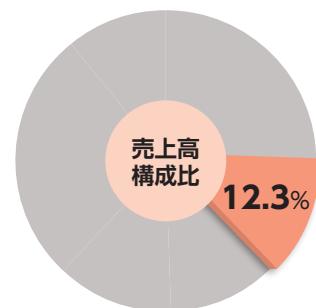


売上高 **995**億円
(前年同期比 **2.6%**減 ▽)

- 新設住宅着工戸数は減少が続き、排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動を受けた。
- レンタル・セールス・サービスが一体となってお客様のニーズに最適な提案を行うと共に、排ガス規制に対応し、かつ省エネ性能を実現した新型機の拡販に努めた。

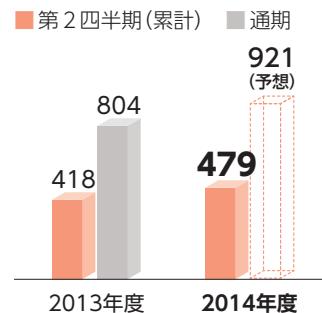


米州

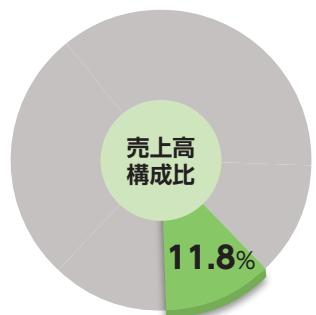


売上高 **479**億円
(前年同期比 **14.6%**増 ▽)

- 建設機械需要は、住宅着工の持ち直しやパイプライン敷設工事の増加、設備投資の回復により堅調に推移。
- マイニング機械需要は、特に南米で落ち込み。
- 北米では排ガス規制対応機の拡販に努め、南米では販売体制を整えたブラジル市場で拡販を推進。

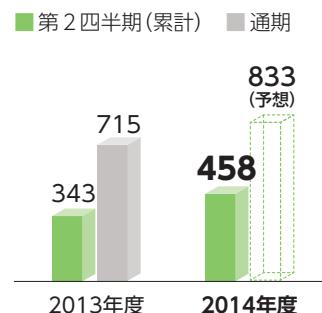


欧州



売上高 **458**億円
(前年同期比 **33.3%**増 ▽)

- 英国の住宅着工数増等に牽引され、ドイツ・フランス等西欧諸国の建機需要が大幅に増加。
- 各国代理店へのサポート強化。
- 低燃費型油圧ショベルやホイールローダを積極的に拡販。



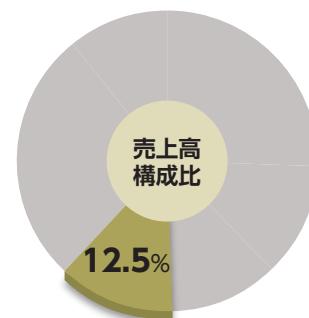
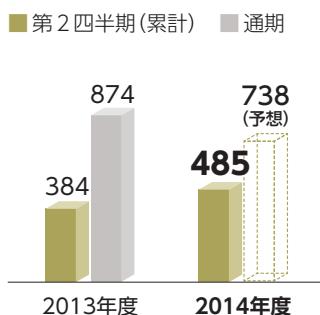


(単位：億円)

ロシアCIS・アフリカ・中近東

売上高 **485**億円
(前年同期比 **26.2%**増 )

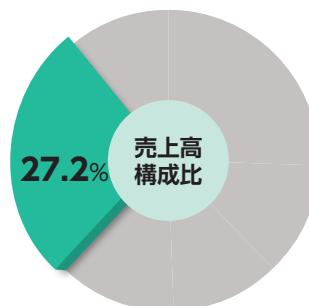
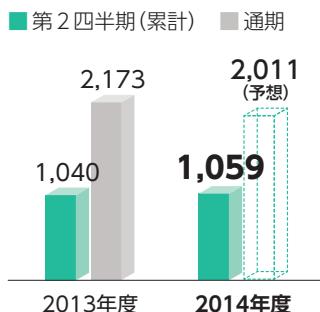
- ロシアでは建設・マイニング機械の拡販に努め、新工場で現地産油圧ショベルの量産出荷を開始。
- 南部アフリカではマイニング機械を中心に、北西アフリカでは代理店と共にインフラ関連向け建設機械の販売・サービスを強化。
- 中近東では、トルコ及び湾岸諸国でインフラ関連を中心として拡販に注力。



アジア・大洋州

売上高 **1,059**億円
(前年同期比 **1.9%**増 )

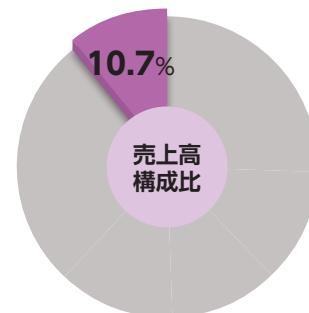
- 資源国のインドネシア・オーストラリアのマイニング機械需要は低迷。建設機械需要もインドネシア・タイ・オーストラリア等で減少。
- 営業支援システムの全面的な活用を通して代理店の営業力を強化。
- インドでは、原価低減・品質向上に努めると共に、新型機を拡販。



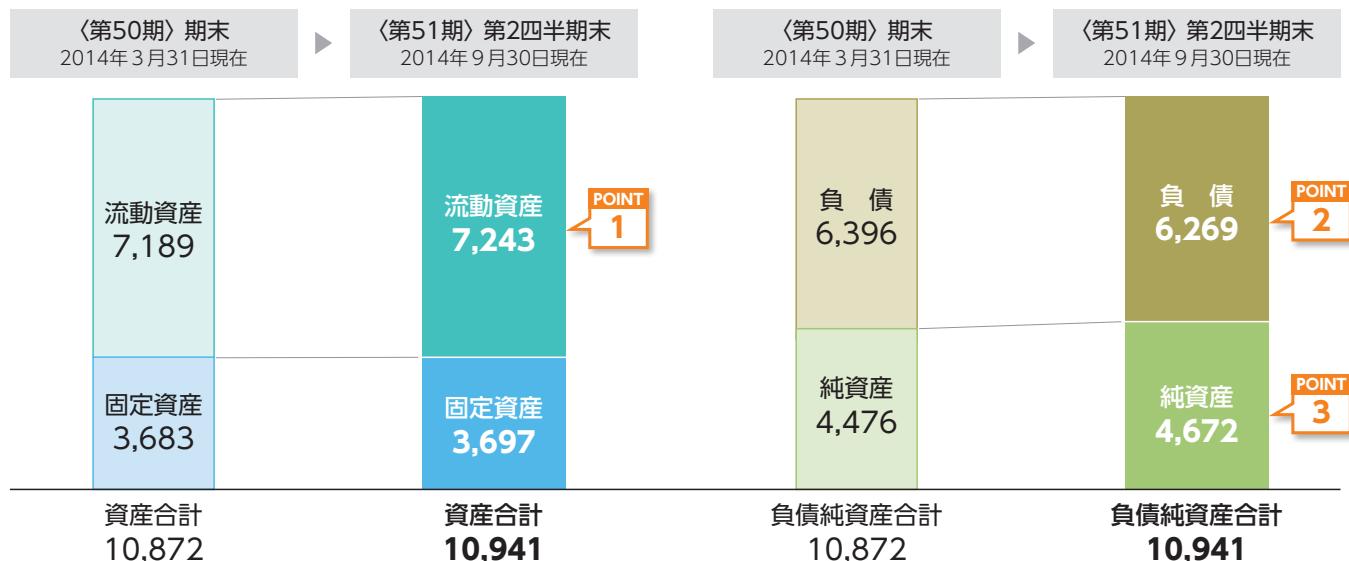
中国

売上高 **416**億円
(前年同期比 **21.6%**減 )

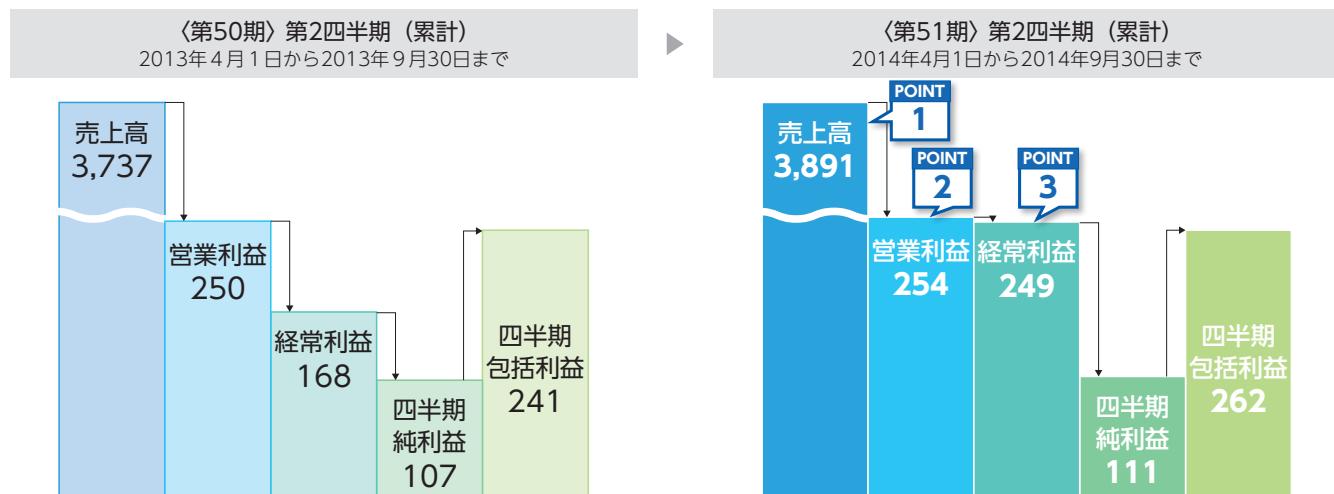
- 政府による景気対策は小規模。
- 不動産投資の伸び率鈍化等により建設機械需要は大きく減少。
- サービス・部品販売管理システムの本格活用により本体・部品の拡販に努め、代理店との協力関係強化を継続。



四半期連結貸借対照表の概要 (単位：億円)



四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書の概要 (単位：億円)





四半期連結貸借対照表のポイント

POINT

1

流動資産

主にたな卸資産が増加したことから、前年度末比54億円の増加。

POINT

2

負債

短期借入金が減少したこと等により、前年度末比127億円の減少。

POINT

3

純資産

為替換算調整勘定の増加及び純利益により利益剰余金が増加したこともあり、前年度末比195億円の増加。

四半期連結損益計算書のポイント

POINT

1

売上高

日本、中国で減少するも、米州、欧州等で増加したことから、前年同期比4.1%の増加。

POINT

2

営業利益

原価低減等により、前年同期比1.3%の増加。

POINT

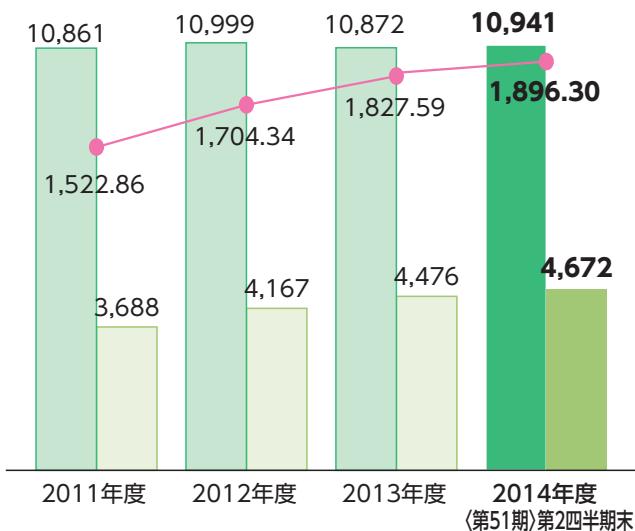
3

経常利益

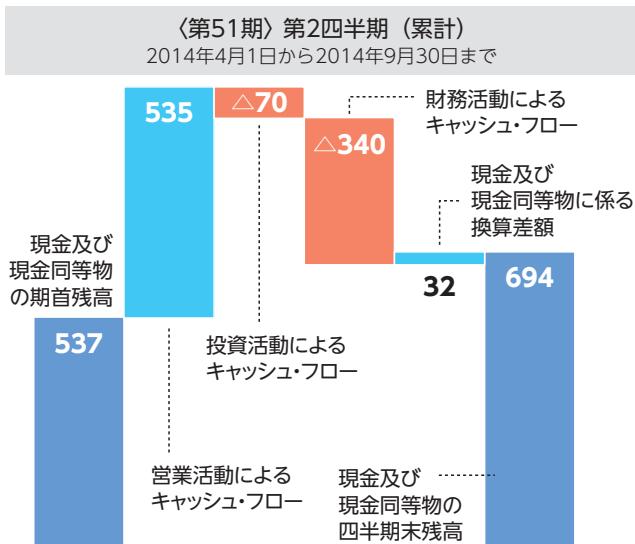
金融収支や持分法による投資損益の改善により、前年同期比48.8%の増加。

■ 総資産 ■ 純資産 (単位：億円)

● 1株当たり純資産額 (単位：円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：億円)



ニュース&トピックス

6月

▶ **ハイブリッドシステム搭載のホイールローダを開発**



ニュース P10をご覧ください。

▶ 第50回定時株主総会開催

7月

▶ 2015年3月期第1四半期決算発表

▶ **ODAでZX210W-3をアゼルバイジャン南部へ納入**



トピックス P10をご覧ください。

9月

▶ 中山由起枝選手、アジア大会クレー射撃女子トラップ競技で銀メダル獲得！

最新情報

10月

▶ 2015年3月期第2四半期決算発表

フォーカス

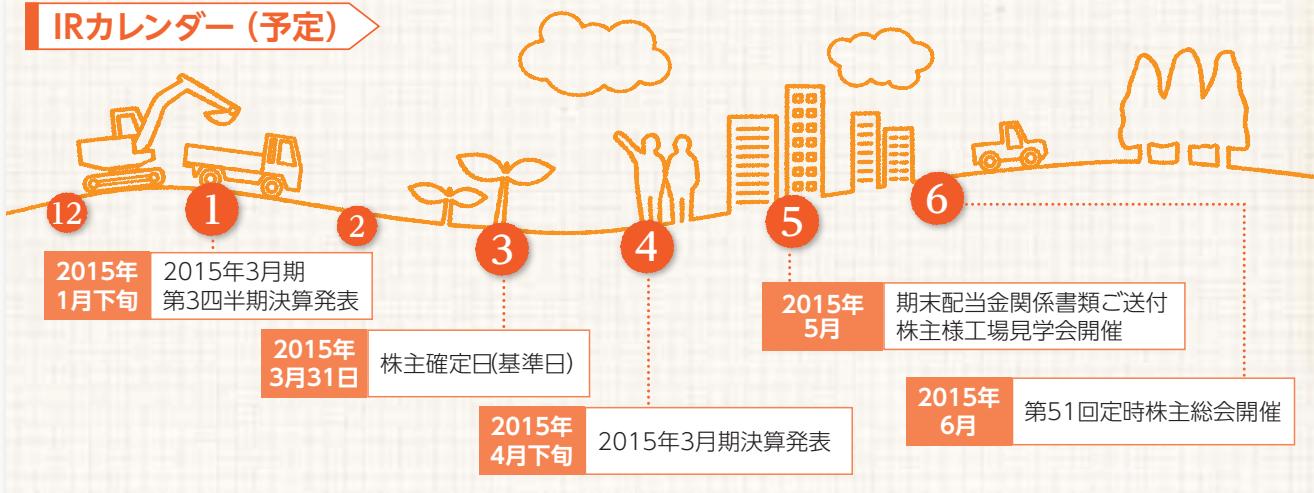
▶ **日立建機オリジナルグッズ～新製品がぞくぞく登場!!～**



フォーカス P11をご覧ください。

今後の活動については、下記をご参照ください。

IRカレンダー（予定）





ニュース

ハイブリッドシステム搭載のホイールローダを開発

低燃費と環境への負荷低減が求められる建設機械市場のニーズに応え、この度、ハイブリッドシステム搭載のホイールローダZW220HYB-5Bの開発を完了しました。

日立グループの技術力を結集し、電動機器、制御コントローラを共同で開発。高度な電動技術を結集したハイブリッドシステムを搭載しています。ディーゼルエンジンで発電機を駆動させ、発電された電気を走行用電動モータに供給する構造となっており、エネルギーロスを大幅に低減させました。更に減速時の回生エネルギーを回収して加速時の駆動力に再利用することで、積み込み作業時の燃料消費量とCO₂排出量を従来機(ZW1型)と比べ約30%低減しており、世界最高水準の低燃費ホイールローダとなっています。

2015年春の市場投入に向け、今後各種の性能試験等を施した後、デビューまでの準備を進めていきます。



ZW220HYB-5B。ハイブリッドシステムに加え、油圧システムを更に高効率化するなど、従来機の作業性を損なうことなく、燃料消費量とCO₂排出量を大幅に低減。

トピックス

ODAでZX210W-3をアゼルバイジャン南部へ納入

日本政府はODAとして、アゼルバイジャンの農業開発を目的とした無償資金協力を行っています。2013年度からスタートしている「第二次土地改良・灌漑機材整備計画」において、この度、当社グループでは、灌漑用水路・排水路の機能を回復させるために、ホイール式油圧ショベルZX210W-3を30台納入し、2014年7月16日に現地で引き渡し式が行われました。

アゼルバイジャン南部地域は、耕作地の地下水位を低下させるための灌漑が欠かせないため、土砂堆積に対する定期的な掘削を行う必要がありますが、本整備計画開始までは機材が不足し、堆積土砂による用水・排水機能の低下が原因となり、農作物の収穫量に大きな影響が出ていました。

当社の油圧ショベルは、南部地域4地区を対象に、掘削作業の能力向上を図るため必要な機材の整備を支援する整備計画に基づいて納入されました。



日立建機オリジナルグッズ ～新製品がぞくぞく登場!!～



ZH200-5B
ハイブリッド油圧ショベルの最新モデル。1/50スケール。



ZH200-5B/ZX200-5Bシリーズ用アタッチメント4種セット
ZH200-5B、ZX200-5Bのミニモデルシリーズ対応のアタッチメント。



EH5000AC-3
リジッドダンプトラック。1/87スケールモデル。



EX8000-6
世界の鉱山で活躍する超大型油圧ショベルをゴールドで仕上げた1/87スケールモデル。

日立建機グループの日立建機トレーディングが運営する「HCTオンラインショッピング」は、ミニチュアモデルを始め、ファッションアイテムやアクセサリ等、日立建機オリジナルのグッズが購入できるWEBサイトです。油圧ショベルの最新モデルZX-5BシリーズやハイブリッドショベルZH200-5Bのデビューに伴い、ミニチュアモデルのラインアップもますます充実。最新のアイテムがたくさん揃ったHCTオンラインショッピングサイトに、是非アクセスしてみてください!



<http://hcmtrade.com/online/jp/>



※スマートフォン、タブレット端末をご利用の株主様は、左のQRコードからHCTオンラインショッピングサイトに直接アクセスできます。



■ 会社概要

商号	日立建機株式会社 Hitachi Construction Machinery Co.,Ltd.
本店所在地	東京都文京区後楽二丁目5番1号
資本金	81,576,592,620円
従業員数	21,229名
ホームページ	http://www.hitachi-c-m.com/global/jp/ (電子公告も上記ホームページよりアクセスいただけます。)



日立建機

検索



クリック

株主・投資家の皆様に有用な情報をまとめて掲載しています。

株主・投資家向け情報

<http://www.hitachi-c-m.com/global/jp/ir/index.html>



こちらのページでは以下のようなコンテンツや、さまざまなIR資料をタイムリーにご覧いただけます。

● トップメッセージ



日立建機グループのこれから等を社長の生の声でご紹介しています。

● 中期経営計画



成長に向けた取り組みである中期経営計画「GROW TOGETHER 2016」についてご紹介しています。

● 個人投資家の皆様へ 日立建機ってどんな会社？



日立建機グループをわかりやすく解説。株主様の工場見学会等さまざまな取り組みについてもお伝えしています。

役員・委員会

取締役

取締役会長※
川村 隆



取締役※
小豆畑 茂



取締役※
三田村 秀人



取締役
有馬 幸男



取締役
岡田 理



取締役
田部井 三浩



取締役
辻本 雄一



取締役
徳重 博史



取締役
水谷 努



執行役

代表執行役	執行役社長	辻本 雄一※
	執行役専務	有馬 幸男※
代表執行役	執行役専務	田部井 三浩※
	執行役専務	水谷 努※
	執行役常務	大野 俊弘
	執行役常務	落合 泰志
	執行役常務	住岡 浩二
	執行役常務	平岡 明彦
	執行役常務	廣田 則夫
	執行役	太田 賢治
	執行役	桂山 哲夫
	執行役	角谷 守朗
	執行役	杉山 玄六
	執行役	玉樹 正人
	執行役	平野 耕太郎
	執行役	福本 英士
	執行役	本井 正

- (注) 1. ※印を付した執行役は、取締役を兼務しています。
2. 役職ごとに五十音順にて表記しています。

指名委員会

川村 隆
小豆畑 茂
三田村 秀人
辻本 雄一

報酬委員会

辻本 雄一
小豆畑 茂
川村 隆

監査委員会

岡田 理
小豆畑 茂
三田村 秀人

(注) ※印を付した取締役は社外取締役です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の基準日	毎年3月末日及び毎年9月末日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 (http://www.hitachi-c-m.com/global/jp/)
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っています。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話（0120）49-7009（フリーダイヤル）
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きについては、東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
上場株式配当等のお支払いに関する通知書について	配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）又は配当金領収証にてお受け取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様は、お取引の証券会社等にご確認ください。

株主様へのご案内

配当金の口座振込によるお受け取りについて

配当金のお受け取りは、口座振込をお勧めします。口座振込をご指定いただきますと、配当金支払開始日にご指定の銀行等の口座に配当金をお振り込みしますので、迅速・安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。
※配当金のお受け取り方法の変更については、お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、将来に関する見通し、業績に関する計画等の歴史的事実ではないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。

 **日立建機株式会社**

〒112-8563 東京都文京区後楽二丁目5番1号

電話 (03) 3830-8064

<http://www.hitachi-c-m.com/global/jp/>



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

